アドビ株式会社
141-0032　品川区大崎 1-11-2
ゲートシティ大崎イーストタワー

アドビ、クリエイティブ AI スタジオである Adobe Firefly の機能を拡充し、アドビの信頼性の高いクリエイティブツールをすべてのクリエイターへ

- アドビのクリエイティブエージェントを「Adobe Firefly」全体へ拡大し、クリエイターが自身の言葉でエージェントに指示を出すことで、アドビの主要なクリエイティブツールや業界トップクラスの AI モデルを操作し実行できるようになり、これまで対応が難しかったプロジェクトや作業にも取り組むことが可能に
- 動画や画像編集向けの新しいデザイン体験と新機能が追加され、Adobe Creative Cloud ツールをより手軽に活用できるようになり、クリエイターは独自のスタイルで高品質な作品を迅速かつ簡単に制作可能に
- アイデアの創出、制作、展開まで支援する Adobe Firefly の新たな「クイックアクション」ギャラリーや、アプリやウェブサイトを作成するためのデザインからコード生成をするツール、カスタマイズ可能で繰り返し利用可能なワークフローを実現する「Adobe Firefly グラフ」などにより、クリエイターはアイデアから完成までを一か所で完結

※当資料は、2026 年 11 月 10 日（米国時間）に米国本社から発表されたプレスリリースの抄訳版です。

【2026 年 11 月 11 日】

アドビ（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ）は本日、世界最大級のクリエイティビティカンファレンス Adobe MAX において、クリエイティブ AI スタジオである Adobe Firefly の機能の拡充を発表しました。新たなエージェント機能、業界トップクラスのモデルや AI 搭載ツールにより、あらゆるクリエイターが 1 つの場所でアイデアを練り、制作し、展開できるようになります。また、Adobe Firefly 全体にわたってアドビのクリエイティブエージェント機能を拡大し、「Adobe Firefly AI アシスタント（ベータ版）」への新機能の追加と統合により、ワークフローのさらなる深化を実現しました。これにより、あらゆるクリエイターに、自身の指示に従って制作を支援するクリエイティブパートナーを提供し、これまで対応が難しかった

プロジェクトや作業にも取り組めるよう支援します。

Adobe Firefly の動画、デザイン、画像エディターが進化したことにより、業界をリードするアドビのクリエイティブツールの精度とパワーを、あらゆるメディアでより手軽に活用できるようになりました。Adobe Firefly には、クリエイターがアイデア出しから完成までを一か所で仕上げられる新しいツールを導入しています。これには、すぐに実行できる「クイックアクション」のギャラリー、カスタマイズ可能で繰り返し利用可能なワークフローを実現する「Adobe Firefly グラフ（ベータ版）」、アプリやウェブサイトを作成するためのデザインからコード生成をするプロトタイピングツールのプレビューなどが含まれます。 Adobe Firefly を使えば、クリエイターは、動画のストーリーボードを完成版に仕上げる作業から、画像内の変更したい部分だけを指定した編集、さらにはブランドアイデンティティを最初のアイデア段階からクライアントへのレビュー段階まで、すべて 1 つのキャンバス上で完結させることができます。

アドビの最新レポートである「クリエイターツールキットレポート」によると、クリエイティブ AI はクリエイターの成長を支援しており、78%が「自身のビジネス拡大が加速した」と回答しています。しかし、クリエイティブプロジェクトは画像、動画、音声、デザインにまたがるものであり、複数のツールやモデル、コストを同時に管理しなければなりません。Adobe Firefly は、業界をリードするアドビのクリエイティブツールや最先端の AI モデル、対話型 AI アシスタントなど、必要なすべてを 1 か所に集約しているため、SNS クリエイターからクリエイティブプロフェッショナルまで、幅広いクリエイターから支持されています。これには、アドビの主要なクリエイティブツールに加え、Topaz Labs、および ByteDance、Google、Kling、OpenAI、ElevenLabs などのパートナー各社が提供するトップクラスのモデル、さらにクリエイティブパートナーとしてのクリエイティブエージェントが含まれます。これらの最新のイノベーションにより、Adobe Firefly がアドビの信頼できるクリエイティブツールへの入り口となることで、あらゆる経験値のクリエイターが Adobe Creative Cloud のパワーと精度を手にできます。

Adobe Firefly およびエージェント型 AI 担当バイスプレジデントであるフォレスト キー（Forest Key）は、次のように述べています。「アイデアを思い付いた瞬間から作品を世に送り出すその時まで、クリエイティブプロセスをサポートするエージェントを提供できることを大変嬉しく思っています。このエージェントは、あなたの感性やスタイル、ビジョンが導く先へと、あらゆるツール、モデル、ワークフローを横断して機能します。これがアドビ全体のアプローチであり、私たちは Adobe Firefly を、最高のモデル、クリエイターが信頼を寄せるツール、そして実際のアシスタントのように振る舞うエージェントが一体となったクリエイティブ AI スタジオとして構築

しました。」

アドビのクリエイティブエージェントは、すべてのクリエイターのための専属パートナー

アドビのクリエイティブエージェントは、クリエイターがより野心的な作品に取り組むことを支援しています。Adobe Firefly AI アシスタントの基盤となるアドビのクリエイティブエージェントは、クリエイターからの指示を受け、クリエイターと協力して作業を進めるクリエイティブパートナーです。今年初めの導入以来、ポートレート写真の一括レタッチや、商品写真を SNS 向けのショート動画に変換するなど、さまざまな用途で活用いただいています。クリエイターは監督としての立場を維持しながら、プロジェクトの進展に合わせて作業を指揮し、クリエイティブな判断を下していきます。今回の新機能の追加により、クリエイターは段階的な指示からバックグラウンドで継続的に実行されるタスクの委任にいたるまで、より柔軟に対応できるようになりました。

主なアップデートは以下の通りです：

- **カスタマイズと設定**：フォーマット、カラー、ブランドガイドライン、キャラクター、製品を一度設定するだけで、すべてのプロジェクトに適用できます。
- **プランモード**：エージェントが作業を開始する前にプランを提示させ、それらをユーザーが確認、編集、承認するか、あるいは自動的に実行させるかを選択できます。
- **モデルセレクター**：セッションに使用するモデルを選択できます。「自動選択」に設定すれば、クリエイティブエージェントが出力結果に基づいてモデルを選定するようにもできます。
- **Adobe Firefly マルチメディアエディター全体でのより深い統合**：Adobe Firefly の各種エディターをまたいで、クリエイターは次の動画ストーリーやデザインコンセプトのブレインストーミングを行うことができます。
- **Adobe Firefly ボード**：人の感性や指示をもとに、会話を通じてアイデアを精緻化しながら、ムードボード、ストーリーボード、クリエイティブコンセプトをリアルタイムで形にできます。
- **Always-on agents（プレビュー）**：アセットの整理から品質チェック、各チャネル向けのコンテンツ作成にいたるまで、繰り返し行われる作業を、常時稼働エージェントに委任できます。このエージェントは、ユーザーの不在時にもバックグラウンドで作業を継続します。

あらゆるプロジェクトを一か所で作成

クリエイターは、アイデアや手持ちのアセットから始め、ワンクリックで編集から SNS 投稿に適した動画のための精密なカット、本格的なデザインプロジェクトへと進め、アプリを切り替える

ことなく、すべて 1 つの場所で完結できます。Adobe Firefly における生成や編集の新機能には、以下のものが含まれます：

- **Adobe Firefly 動画**：拡張された動画編集機能により、クリエイターは 1 つのワークフローでコンセプトから最終カットへの仕上げまでを一貫して行うことが可能になります。これには、物語の展開に沿ってシーンやショットを構成し、簡素化されたタイムライン上でクリップを組み立て、キャプションを追加し、業界最先端のモデルを用いてトランジションや B ロールを生成するといった新機能が含まれます。
- **Adobe Firefly デザイン（ベータ版）**：新しいデザイン編集スペースにより、イラスト、画像編集、アニメーション、3D、印刷用のツールを 1 つのキャンバスに統合し、ブランドアイデンティティ、パッケージ、キャンペーンを最初のアイデアから最終確認まで、1 つのファイル上で完結できます。
- **Adobe Firefly 画像**：「オブジェクトを編集」、「テキストを編集」、「リライト」、「レタッチ」といった新しい精密な編集機能により、あらゆる細部をより細かく制御できるようになり、画像の一部のみを変更し、その他の部分は維持するといったことができます。
- **クイックアクション**：「オブジェクトを削除」や「サムネイルを生成」といったワンステップの修正作業から、「商品広告の作成」のようなガイド付きプロジェクト制作まで、数十種類のすぐに使えるワークフローが用意されています。さらに、トレンドに焦点を当てたアクションやクリエイターが考案したアクションもあり、クリエイターはそれらを自分のスタイルに合わせてリミックスできます。
- **モデルの選択肢の拡大：**業界トップクラスのモデルへのアクセスにより、クリエイターは一か所で様々な美的スタイルを試すことができます。これには、最新の AI モデルである Dreamina Seedance 2.5、Kling 4.0、GPT Image 2.6 Sunburst、GPT Image 2.6 Flare、Nano Banana 2.1 などが含まれます。

クリエイティブワークのあり方を拡大

クリエイティブなプロジェクトが単一の成果物だけで終わることはめったにありません。Adobe Firefly は、繰り返し可能なワークフローからインタラクティブなプロトタイプにいたるまで、クリエイターがクリエイティブな作業を行い、その規模を拡大するための新たな手段を提供し、あらゆる段階で個人が主導権を握り、管理できるようになります。新機能には以下が含まれます：

- **Adobe Firefly グラフ（ベータ版）**： クリエイターが、キャラクターのデザイン検討やショットリストから、キャンペーンアセット全体へのブランドガイドラインの適用にいたるまで、最先端の AI モデルとアドビのツールを統合した、カスタマイズ可能で繰り返し利用可能な

ワークフローを構築できるよう支援します。AI アシスタントが組み込まれており、各ワークフローの作成と最適化をサポートします。

- **Adobe Firefly ビルダー（プライベートベータ版）**：自然言語を使用して、アイデアを web サイト、プレゼンテーション、アプリなど、ブランドの世界観に沿ったインタラクティブなプロトタイプに変換します。初期のプロトタイプ作成にはコードが一切不要です。クリエイターはキャンバス上で任意の要素を直接編集でき、デザインシステムの適用によってプロジェクト全体の一貫性を保ちます。

価格と提供時期

Adobe Firefly の「テキストの編集」、「レタッチ」、「リライト」、「クイックアクション」は本日より一般提供を開始します。そのほかの新しいツールや機能はベータ版として提供されます。Adobe Firefly ビルダーは、Waitlist へ登録することで、プライベートベータ版として利用可能です。Adobe Firefly の料金やプランの詳細はこちらをご覧ください。

■「アドビ」について

アドビは創造性、生産性、そしてパーソナライズされた顧客体験を実現する革新的なプラットフォームとツールを提供し、 -Empowering everyone to create- すべての人が創造力を発揮できるよう支援してまいります。

アドビに関する詳細な情報は、web サイト（https://www.adobe.com/jp/about-adobe.html）をご覧ください。

© 2026 Adobe. All rights reserved. Adobe and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.